



小坂井 実 議員

満潮時の海拔ゼロメートルの定義は

問

作成中のハザードマップ等、防災について聞く。

(1) 8月に宮城県等を見て来た。海も見えない高台で家が流されており、津波の恐ろしさを思い知った。

佐古木の竜頭公園は、土台から2mの所にゼロメートルが表示されている。海拔ゼロメートルの定義は。

(2) 潮には大潮、小潮とあるが、どう理解したらいいのか。

(3) だれでも分かるように(標高を)表記してほしいがどうか。

(4) (満潮時はT Pプラス1.2 mになるため)運動場などは防災拠点になり得ない。(今後造成する)防災広場は、海水が流れ込んででもヘリコプターが着陸できるよ

うにすべきではないか。

東京湾の平均潮位+1.2m相当

答 防災安全課長

(1) 東京湾の平均潮位(=TP)である。

(2) 満潮時は、(TP)プラ



市役所改築の見通しは

問

市役所の庁舎改築にどう聞く。

(1) 庁舎改築等検討委員会【 】の第1回目の協議で、耐震改修するのを断念したのか。



現庁舎は耐震性が低く、築後45年が経過し老朽化等が著しい。この問題を協議する委員会、区長会長等公職者と公募委員2人の計10人で組織している。

第1回は22年8月に開催。耐震化工事は、今後の耐用年数的に費用対効果が低い等の問題からやめ、新築すべきと方向付けされた。

ス1.2 mまで水が来る。
(3) 2 mメッシュ(=地面上的の升目)で、標高は50 cm単位に色分けを考えている。
(4) (TP)プラス1.2 m以上造成するのは、近隣土地との関連もあり難しい。
議員の指摘も考慮しながら、今後、安全を守るための施設を検討していきたい。

28年度までに新庁舎を完成させたい

答 総務課長

(1) 耐震補強しても庁舎の耐用年数は延びない。

現在は新庁舎を建設する方針で計画を進めている。

(2) 合併推進債が活用できる範囲内(=28年度中)に、建築を終えたい。

(3) 現庁舎の駐車台数が足りないことは認識している。複数階にする案も含め、現在協議している。

第2回は22年12月に開催。合併推進債(=財政状況により国の支援が受けられる借金)が活用できる28年度までの完成および床面積1万㎡を想定した上で、(a)市街化調整区域は法規制により建設できず、(b)市街化区域の大部分は床面積3千㎡以下の制限がある。従って移転新築を見送る(2)十四山支所改築は人口分布上、市の中心から遠い等の理由から、「現在地に新庁舎建設」を決定した。
23年度までに8回会議を行い、24年度以降に基本計画を策定予定。

(2) 建て替えが決定しているが、この見通しはどうか。
(3) 駐車スペースを2階建てにする考えはあるか。